

表1 出題問題の検討

不適切問題

| 問題   | 検討内容   |
|--|--|
| <p>午前13<br/>正常新生児の特徴で正しいのはどれか。<br/>1. 追視ができる<br/>2. 視力は0.2程度である<br/>3. 音への反応はみられない<br/>4. 呼吸は主に口呼吸である<br/>5. 甘味の濃度の識別ができる</p>  | <p>本問においては、選択肢1および選択肢5が正解であると考えられるが、択一式の設問となっている。選択肢1「追視ができる」および選択肢5「甘味の濃度の識別ができる」について、「新生児の感覚系」の特徴として記述されている(助産学講座8、医学書院、p24～26)。</p>                         |
| <p>午前52<br/>産後6週0日。Aさんは、地域の助産所の母乳相談を訪れ「子どもが先週から夜に寝てくれなくて体が休まらない。疲れて家事も思うようにならない。母が帰ってから相談できる人がいない。母乳が足りないのかな」と訴えた。助産師がAさんの全身状態を観察した結果、褐色の悪露が少量あり、子宮底は恥骨上に硬く触れた。バイタルサインは正常であった。乳房は柔らかく、両乳房の乳管開口数10本程度で射乳あり。1日の授乳回数は7、8回程度。児の体重は現在4,250gであり、皮膚トラブルはなかった。<br/>Aさんと児の状態のアセスメントで適切なのはどれか。<br/>1. 児に健康問題がある。<br/>2. 育児技術が未熟である。<br/>3. 子宮復古不全が疑われる。<br/>4. 母乳分泌が不足している。<br/>5. 育児のサポートが不足している。</p> | <p>本問においては、選択肢3および選択肢5が正解であると考えられるが、択一式の設問となっている。選択肢3は、産後6週間で褐色悪露少量、子宮底が恥骨上に触知という子宮復古不全の状態であるので正解である。また、選択肢5は、Aさんの訴えから育児のサポート不足状態であることが窺われるため、正解であると考えられる。</p> |

課題のある問題

| 問題  | 検討内容   |
|---|--|
| <p>午後28<br/>Aさん(30歳、初妊婦)。夫と義母の3人暮らし。妊娠38週で子宮内胎児死亡となり、帝王切開術を受けた。手術後8日で退院する予定である。Aさんの実母から「赤ちゃんの父親は海外出張中で帰ってくるできません。死産届は誰が出したらよいでしょうか」と助産師に相談があった。<br/>届出者として最も適切なのはどれか。<br/>1. 義母<br/>2. Aさん<br/>3. Aさんの実母<br/>4. 死産に立ち会った医師<br/>5. 死産に立ち会った助産師</p> | <p>帝王切開術の要約に「胎児が生存している(ただし、胎児・胎盤の存在が母体に危険を及ぼす可能性がある場合には胎児の生死は問わない。)」が挙げられている(助産学講座8、医学書院、p229)。<br/>近年では、子宮内胎児死亡後の分娩様式は経膈分娩が一般的である。<br/>解答には影響はないが、状況設定に疑問が残る。</p> |